

資 料 提 供
令和4年6月10日(金)
自然環境課
外線 076-225-1475/内線 4260
文化財課
外線 076-225-1840/内線 5620

県内初となるコウノトリのヒナ誕生について

志賀町内の電柱の上で4月頃からコウノトリ1ペアが営巣しており、本日までにヒナが誕生していることが確認されました。県内でのコウノトリのヒナの誕生は、少なくとも日本のコウノトリ絶滅(昭和61年)以降、初めてです。

なお、北陸電力送配電(株)の協力により、営巣した電柱では、コウノトリの感電を防ぐために電線を迂回する工事が施されています。

<コウノトリについて>

ワシントン条約附属書I、国特別天然記念物、国内希少野生動植物種に指定されています。国のレッドリストでは絶滅危惧IA類、いしかわレッドデータブックでは絶滅危惧I類に選定される絶滅危惧種の鳥類です。

2月から営巣、3～4月に産卵、4～5月にふ化、7月上旬ごろまでに巣立ちとなります。主にマツの高木の他、電柱にも営巣します。湿地や水田でドジョウ、カエル、バッタなどを採餌します。

<日本産コウノトリの絶滅とこれまでの人工繁殖・放鳥>

昭和46年に野生下、昭和61年に飼育下のコウノトリが死亡し、日本産コウノトリは絶滅しました。昭和60年以降、兵庫県が旧ソビエト連邦(ハバロフスク地方)のコウノトリから人工繁殖・放鳥を進め、近年、生息数が増加しています。令和4年4月27日時点で、国内の野生推定個体数は246羽となっています。

<石川県内への飛来状況>

兵庫県を中心に生息し、全国各地に飛来が確認されています。県内では平成30年から記録を集計し、令和4年5月までに9市5町で飛来が確認されています。

<取材について>

コウノトリの静穏な環境維持の観点から、現地取材はご遠慮下さい。また、詳細の内容および写真データについては、志賀町教育委員会生涯学習課(連絡先:0767-32-9350)まで、ご連絡をお願いします。



コウノトリの親とヒナ（志賀町教育委員会生涯学習課 撮影）